

MONTHLY REPORT



2023 年 3 月

Masato TANAKA

いつもと変わらず朝起きて外の庭を見ると、いつの間にか背を伸ばし、一面に小さな白い花を咲かせている雑草。それを縫うように、2匹の蝶が卍巴飛翔をしていました。字面からは伝わりにくいですが、朝日と咲いたばかりの小さな花と蝶々が可愛らしく僕に春を告げてくれました。とはいえ春寒し、朝夜の冷え込みは厳しいです。地中海特有の体に刺さるような日差しの下にいと半袖でも過ごせるくらい太陽の光の温かさを感じるのですが、少しでも日陰に入るとコートが手放せないほど寒く、寒暖差に困惑する春のニースです。

ぽかぽかと浮かれた日差しと桜の木々を眺め、未来をふんわりと想像するような日本の“春”はここにはありません。春という文字だけでも美しい風景を想像できる日本語の素晴らしさ。日本から離れて生活していると、日本の移りゆく四季の美しさ、言葉の彩り、奥深さを改めて実感することが多くあります。様々な国や地域を実際に巡って、ヨーロッパの様々な気候、それによる文化や歴史の発展などを肌で感じる素晴らしい体験の日々ですが、それと同時に日本の素晴らしさに気付かされることも多いです。日本がどんどん好きになります。恋しさとはまた違うこの感覚は、留学ならでの体験です。

春は出会いと別れの季節。SNSで遠く離れた友人の晴れ姿を見て、行き場のない寂しさだけが僕を襲います。寂しさと比例する出会えた喜びが身に染みて、幸せを感じる。そんな幸せを実感すればするほど、会えない事実にもた寂しくなる。そんなことを繰り返しながら過ごした3月中旬です。

【パートナーシッププロジェクト】

2月から後期が始まり、前期同様に企業とのパートナーシッププロジェクトに参加することができます。5つの企業の選択肢から私が選んだのは、MOBILIZE Financial Services というフランスの車メーカーである Renault の子会社です。

MOBILIZE は the Renault-Nissan-Mitsubishi Alliance (ルノー、日産、三菱の企業提携) に対する金融サービスを提供している会社です。今回のプロジェクトで取り組む問題は、カーリースビジネスにおいて、カーディーラーが抱えるリース用の中古車ストックの新たな利用方法や、ストック期間が長くなればなるほど下がってゆく車の価値の問題をどう解決できるかという感じです。

なんだかビジネススクールのような内容のプロジェクトなので、金融の仕組みや専門用語など初めて



最初に行ったカーリースに関する
イメージマッピング

触れる内容が多いのですが、逆にそれが面白そうだと感じ MOBILIZE を選択しました。計 14 人のメンバーでどのような解決方法を生み出せるか、デザインを学ぶ学生として、このビジネス要素満載の課題にいかにか食らい付けるか、リサーチをメインに問題解決に向けて頑張っています。

デジタル社会の発展や公共交通の発展と共に、車を所有することに対する需要が変化していること、所有形態の変化、カーボンニュートラルをはじめとした、車に対する環境規制、資源問題など考えるべき要素が山積みです。それに加えて、フランスにおける車・社会・人の関係性が日本のそれとは異なっており、留学生の僕はフランスの車社会の理解から始めないといけないので、そもそもの課題を理解、解釈することが難しかったりします。後期の終わりまで続くプロジェクトなので楽しみながら取り組んでいくつもりです。

【マテ茶の世界】

後期からアルゼンチン、イタリア、中国、ドイツ、オランダ、インドでデザインを学んでいた学生が新たにクラスメイトとして加わりました。多国籍な生徒が魅力的な BESIGN ですが、後期からさらに彩りが増してクラスが賑やかになっています。当然新たな文化交流が生まれるのですが、アルゼンチン人の友人が教えてくれたマテ茶なるものは僕に衝撃を与えました。

木製のマテ壺にたっぷり茶葉を入れ、お湯を注ぐ。ボンビーシャという茶漉しを兼ねたストローで熱さに気を付けながら飲む。初めは癖のある強めの苦みに少し驚きますが、急須で入れた緑茶のような深いコク、鼻に抜けるマテ茶の香り、舌に残る深みのある苦みが癖にならずずっと飲んでいたくなります。嫌な苦みはほとんど残ることはなく、とても後味はすっきりしています。好き嫌いは分かれそうですが、僕はアルゼンチンに行って自分のマテ壺とボンビーシャとマテ茶を買いに行きたくなるほど好みでした。飲むサラダとして、健康にもすごく良いと教えてくれました。おいしくて健康的。とても素晴らしい飲み物です。



火傷しないように
慎重にマテ茶を飲む僕

日常としてマチャ茶は欠かせないのか、ほぼ毎日マテ壺がアルゼンチン人の友人の机の上に置かれています。マテ茶を回し飲みすることが友好の証という文化があるらしく、近くの席にいとマテ茶を飲ませてくれます。

きっと帰国したらすぐにネットでマテ茶を購入してしまいそうです。まだまだ知らないマテ茶の世界が僕の未来に広がります。文化の交流がとても近い距離で日常的に行われることは留学の醍醐味です。BESIGN は特にグローバルな環境なのでたくさんの経験ができて幸せです。

【上がる料理の腕】

節約のため毎日自炊をしているのですが、だいぶ料理の腕も上がり、友人が家に来ても、さらっとフランス料理をふるまえるくらいにはなりました。日常の中で友人たちがいろんな料理や、食べ方を教えてくれるので手料理の世界も日々広がっています。



とある日の夕食